

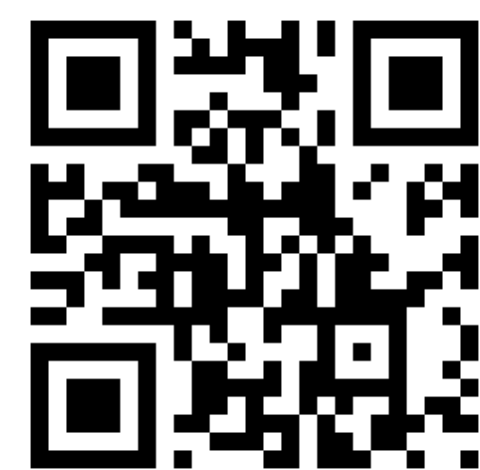
株式会社サカイエステック

「工事現場の情報発信・案内を支援する対話型デジタルサイネージ」



工事現場での情報発信や案内業務の効率化を目指し、対話型デジタルサイネージの開発・実証を行いました。

企業情報	
業務内容	建築設備事業、環境システム事業、保守サービス事業、自社工場製作・加工
所在地	福井市成和2-1009-2
担当者	吉田 健司
問合せ先	TEL 0776-30-0255 MAIL yoshida@s-stec.co.jp



企業HP

1.事業実施の経緯

工事現場では、工事内容や安全対策を地域住民へ分かりやすく伝えることが課題でした。

そこで本事業では、アバターが案内する対話型デジタルサイネージを開発し、情報提供の充実と案内業務の省人化を目指しました。

2.事業内容

対話型デジタルサイネージを開発し、イベントや工事現場で実証を行った。

- ・ アバターによる案内機能を開発
- ・ 音声認識方式からタッチパネル方式へ改良
- ・ 無人時でも案内機能がわかるシステムに改善

3.事業の成果

- タッチパネル式に変更し誤認識を解消
- 実証試験を実施（フェア2件、工事現場3件）
- 通行人の注目具合を確認
- 工事内容など情報提供ツールとして有効性を確認

4.製品・技術のPR

アバターとタッチパネルを組み合わせ、利用者が画面を操作しながら必要な情報を得られる対話型デジタルサイネージです。工事内容や安全対策などを視覚的に分かりやすく伝え、現場での情報発信や説明をサポートします。

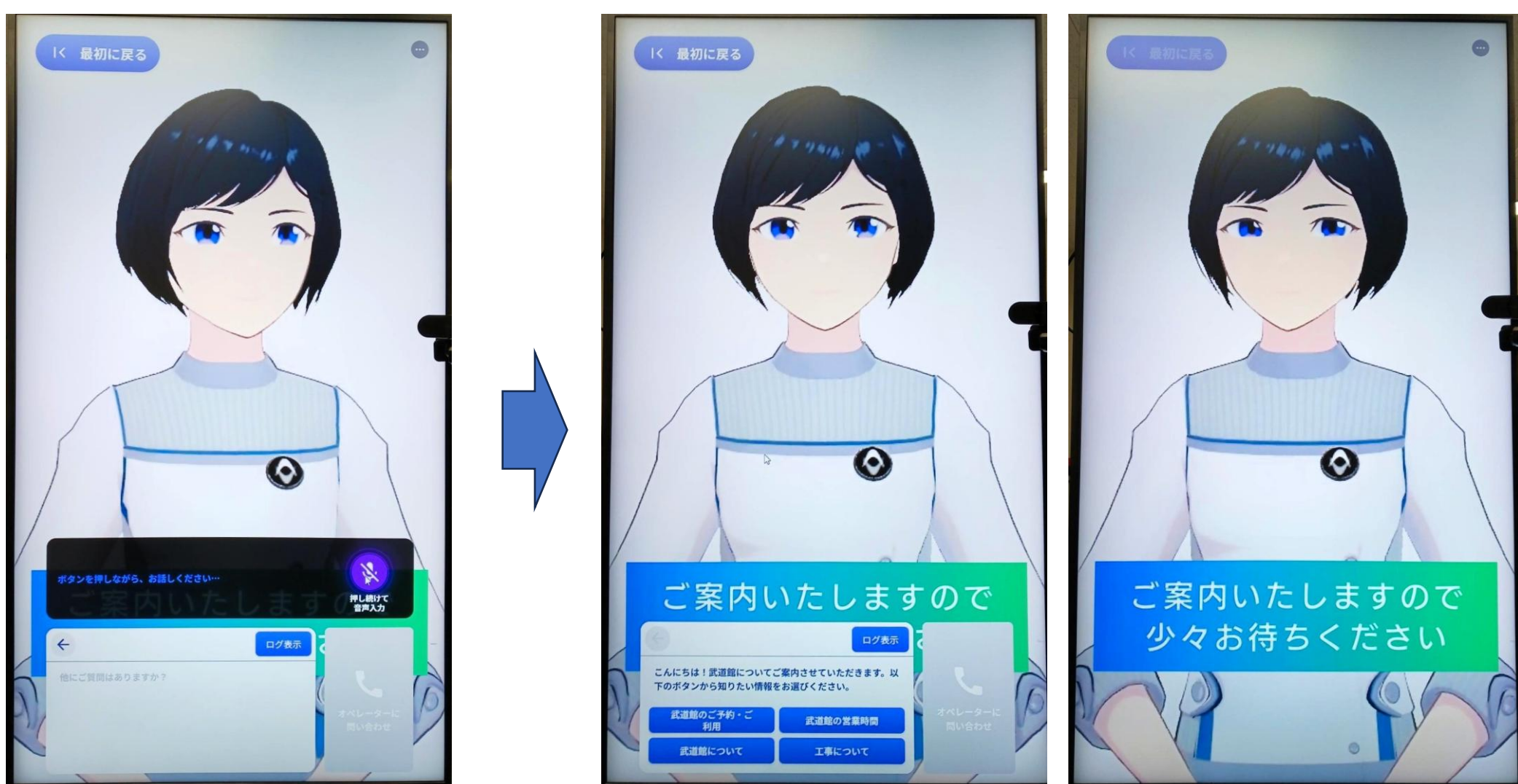


図 音声認識方式（左）からタッチパネル方式（右）に変更により誤認識を大きく低減



図 会社外観

経営者の声



代表取締役
山岸 康弘

建設業では、デジタル技術を活用した業務効率化や新たな情報発信のあり方が重要になっています。本事業では、実際の工事現場やイベントで実証を重ねることで、デジタルサイネージを活用した新たな情報発信の可能性を確認することができました。今後も現場で得られた課題やニーズを取り入れながら改良を進め、建設業だけでなく幅広い分野で活用できるサービスへの発展を目指してまいります。